

# 親子聖書日課

NO.1886 2024.11/17-23

名前

[日]自分を憎む者を助けたくはないですね。しかし、主は「パンを与え、水を飲ませよ」と、感情に反しても、善を行いなさいと言われました。主は自分の感情に正直に生きるよりも、主の言葉に聴き従うことを求めておられます。主に倣うことです。

[月]福音はなかなか伝わりませんが、人の噂はすぐに伝わります。それは「陰口を言う者」が多いからです。人の心を傷つける噂(本来は、口をもって尊ぶ事)は語らず、人を生かす福音を語りましょう。間違っても、噂だけは薪を積まないことです。

[火]「自分がやった、やった」と自慢する人がいますが、その人は神と人との関係を壊します。全ては神から与えられた賜物で、自分のものとして誇るべきものは一つありません。誇るなら、主を誇り、人にではなく、主にほめていただきます。

[水]「困った時の神頼み」という人はいませんか。物事がうまくいくと、「自分の心に依り頼み」主の「教えに耳を背けて聞こうとしません」主に依り頼む人とは「常に恐れ(畏れ)を抱いている」日々、御言葉に聴従する人です。その人は幸いです。

[木]子育ては、優しさだけではなく、「懲らしめの杖」をもって育てることで、それは、体罰ではなく、冷静に、愛のむち(悪い事は悪いと叱る)を用いることです。子供が「あなたの魂に楽しみを与える」存在になるよう、主の知恵を頂いて育てましょう。

[金]二つのことを叶えてあげようと言われたら、何を求めますか。アグルは常に「真実」と「定められたパン」で生きられるように祈りました。「真実」は、主に喜ばれる祈りです。「定められたパン」は、御言葉です。それを毎日頂いて、心を養いましょう。

[土]母の背後の祈りによって、立ち直った子供は沢山います。祈る姿ほど美しいものはありません。そこには、真実な叫びがあるからです。主を畏れる人こそ、心からの美しさが溢れています。本当の美しさは、神第一の生活に心がける人です。



	聖書	問題	答え
日	箴言 25:1-28	あなたを憎む者が飢えるなら、何を与えるべきですか。	
月	26:1-28	陰口を言う者が消えれば、いさかいはどうなりますか。	
火	27:1-27	自分の口で、自分をどうしてはいけませんか。	
水	28:1-28	主に依り頼む人はどうされますか。	
木	29:1-27	あなたの子をどうするなら、安心していられますか。	
金	30:1-33	私の定めた何で、私を養ってくださいと願うべきですか。	
土	31:1-31	どんな女こそ、たたえられますか。	
	感想と祈りの課題		